

(様式3号)

学位論文の要旨

氏名 金森 弓枝

〔題名〕

地域組織活動での相互交流による独居高齢者の健康維持

〔要旨〕

【目的】本研究の目的は、独居高齢者が地域組織活動での相互交流によって健康を維持する構造を明らかにすることである。

【方法】独居高齢者6名と家族同居高齢者6名を対象に半構成的面接調査を実施して、質的統合法(KJ法)にて分析した。A 大学研究倫理審査委員会の承認を得て実施した(承認番号18-023)。

【結果】地域組織活動での相互交流は、家族同居高齢者に『主体的に地域組織活動に取り組む』態度や『組織における自分の在り方』を問う姿勢を生じさせるとともに、『配偶者による活動への理解』や『成員との心のつながり合い』『活動に基づく健康管理意識の芽生え』を引き起こし〔心身のコントロール〕をもたらしていたが、独居高齢者には長年の活動の中で、各人の〔豊富な人生経験が生む思考の幅〕を生じさせ、『成員との友好的系譜を形成』を生み出していた。同時に、『成員との友好的系譜の保持』のために相手に合わせた距離感のコントロールなど〔人間関係を円滑に進める社会的スキル〕をもたらし、独居高齢者の根底に地域組織〔活動に充実感や心地よさを期待〕する感覚を覚えさせ、〔配慮された運営や身になる企画〕という観点での希望を引き起こしていた。また、このような友好的系譜の積み重ねは、〔活動による苦慮で心身の余裕を喪失〕するほどの『時間的、心理的活動負担』が影響しつつも、地域の中に〔配偶者に代わる心の拠り所〕を見出させ〔成員との関係性の中に居場所を感じる安心感〕を生じさせるとともに、〔知的刺激の享受〕を叶え〔活動刺激による認知的にメリハリのある日常生活〕をもたらしていた。

【考察】独居高齢者にとって地域組織活動での相互交流による健康維持とは、当該活動への参加を通して生活の在り方そのもの、すなわちQOLをコントロールすることで、今の生活を続けていけることであると示唆された。

作成要領

1. 要旨は、800字以内で、1枚でまとめること。
2. 題名が欧文の場合は、和訳を()書きで記載すること。

学位論文審査の結果の要旨

報告番号	甲 第 1618 号	氏 名	金森 弓枝
論文審査担当者	主査教授	山勢 博彰	
	副査教授	野垣 宏	
	副査教授	守田 孝恵	
学位論文題目名 (題目名が英文の場合は、行を変えて和訳を括弧書きで記載する。)			
地域組織活動での相互交流による独居高齢者の健康維持			
学位論文の関連論文題目名 (題目名が英文の場合は、行を変えて和訳を括弧書きで記載する。)			
地域組織活動への参加によって健康を維持する独居高齢者の健相互交流の構造			
掲載雑誌名 山口医学 (2020年12月22日受理 編集中)			
第 卷 第 号 P. ~ (年 月 掲載・掲載予定)			
(論文審査の要旨)			
<p>本学位論文は、地域で保健医療福祉の専門職によって行われている独居高齢者支援に対する示唆を得ることを念頭に、地域組織活動への参加によって健康を維持する独居高齢者の相互交流の構造を明らかにすることを目的として実施された。</p> <p>12名の独居高齢者を対象とした半構成的面接法により、得られたデータを質的統合法(KJ法)で分析し、次の結論を導いた。</p> <p>地域組織活動での相互交流は、独居高齢者と家族同居高齢者のどちらにも成員としての主体性と自己洞察、活動遂行で欲する心の抛り所、活動で生じる精神的充足感、QOLのコントロールというプロセスで健康維持をもたらしていた。また、その様相は異なり、地域組織活動での相互交流の構造は当該高齢者特有のものであった。独居高齢者にとって地域組織活動での相互交流による健康維持とは、当該活動への参加を通じた生活の在り方(QOL)をコントロールすることで今の生活を続けていけることである。</p> <p>本研究は、健康維持の観点から独居高齢者の地域組織活動における相互交流の実際をインタビュー調査によってデータ収集し、質的分析手法によってその構造を明らかにすることができた。量的研究に比べ、少ない対象者からのインタビューデータではあるものの、KJ法による緻密な分析により、論理的に了解可能な結論を導くことに成功している。地域組織活動への参加がない高齢者との比較研究や得られた構造の検証研究がされていないため、高い根拠をもって一般化することはできないが、本研究によって得られた成果は公衆衛生分野の保健活動等に寄与するものと評価する。</p> <p>以上より、本審査委員会は申請された学位論文が博士(保健学)にふさわしい価値あるものと認める。</p>			

備考 審査の要旨は800字以内とすること。